



平成21年4月

西大和6自治会連絡会 平成21年度 活動方針

始めに、昨年から今年にかけて戦後最大の経済危機とも言われ、明るいニュースの少ない社会情勢です。この様な状況下、私達の自主防犯・防災活動は、益々重要になって来ます。6自治会メンバーが、団結と強いリーダーシップで住民と一体となって基本活動を継続し、安全で安心なまちづくりを進めましょう。

次に主な活動計画を報告します

1、会議、協力機関対応等

6つの自治会が、共同歩調で温度差の少ない活動を進める為に、月1回の役員会議他必要に応じ情報の共有と交換の場が必要です。片岡台、桜ヶ丘両地区の各代表世話人が、他の会長と協力し地区代表として3自治会相互の交流を促し、諸行事のより円滑な運営を図る。各行事への動員力は役員の大きな役割の一つですが、自治会役員(倶類、ブロック類等)と協力機関(シルバー会、子供会等)等へ日頃良好なコミュニケーションを心掛け、活動への理解と協力を得る事が大切です。又、各公共機関、校区内学校、広域団体等との良好な連携関係維持については、事務局を中心とした活動を引き続き推進する。

2、防犯対策

昨年の犯罪発生状況は西和署管内で対前年比204件も増加し、内6自治会管内は22件の増加です(上欄録では71件の増加)。昨今の社会情勢からしても安心出来る状況でなく、防犯知識の普及と家庭及び地域ぐるみ自主防犯対策等の継続した取り組みが必要です。

- ・青色パトロール隊によるパトロールを、片岡台と桜ヶ丘両地区に分かれて毎月3回以上実施する。又、必要に応じて特別パトロールも実施する。
- ・各自治会主導による独自に工夫をこらしたパトロールを毎月実施する。
- ・防犯環境パトロールを各丁毎、年2回実施し、犯罪が発生しない環境づくりをする
- ・防犯講習会を開催し、西和署の指導で各丁毎又は6丁合同の出前講習を実施する。
- ・第8回「空き巣被害ゼロ、100日運動」を展開する→9月23日～12月31日
- ・子供見守り活動(第2小)は学校、PTA、たんぼぼ隊等と協働する(他の校区内自治会も一緒に)。

3、防災対策

震災対策を中心に進めるが、その他防災対策も随時取り組む。地震発生から3日以内の対応が大事と言われ、その自助対策は十分か。防災知識と家庭の防災会議の普及に努める。次に救出活動は、近隣住民等による救出が8割と言われ、「向こう3軒両隣」精神で共助の取り組みを他機関とも協力し進め、「自分達の地域は自分達で守る」という意識に基づき自主防災組織の充実を図る。

- ・防災センターの見学と当会独自の「防災マニュアル」勉強会を新役員を中心に行う
- ・震災対策講習会の開催し住民へ防災知識を普及する。
- ・初期消火訓練、各自治会保管の防災資機材の点検、使用訓練等も実施する。
- ・救急救命講習会を開催し、住民の応急手当訓練修了者を増やす。

4、防犯・防災対策懇談会を開催する。

関係諸団体の長と年初に開催し、年間活動計画への理解を深め、当会への支援・協力体制の維持、発展に努める。

◎ソフトボール大会への参加、ハイキング等企画し役員・住民相互の親睦を図る。以上